

SPECIAL
EDITION

HONG KONG

ONE STORY

BY MERCI MEDIA CORPORATION

ISSN 2817-1276

\$5 CAD
¥500

March 17, 2023

ART | BUSINESS | DESIGN | HOSPITALITY | LEISURE | LIVING | TRAVEL | WELL-BEING | REAL ESTATE

www.merci-magazine.com

ATELIER E の核心

Enoch (エノク) は2009年にAtelier Eを設立し、アトリエソリューションスタジオとして活動しています。その名前からも明らかのように、エノクはこのアトリエの中核を担っています。

コンポジション デザイン

香港のAIAセントラル内にあるカフェスタンドNINETY'Sは、金融街の喧騒にありながら安らぎのオアシスとしてもてなしを提供します。

デザインのセンセーションとしての曲線

曲線的なフォルムが醸し出すのは、流動性、ダイナミズム、自由な動きです。アトリエEは、丸いもの、ボリュームのあるもの、曲がりくねったものすべてに心躍らせています。

インテリア デザイン



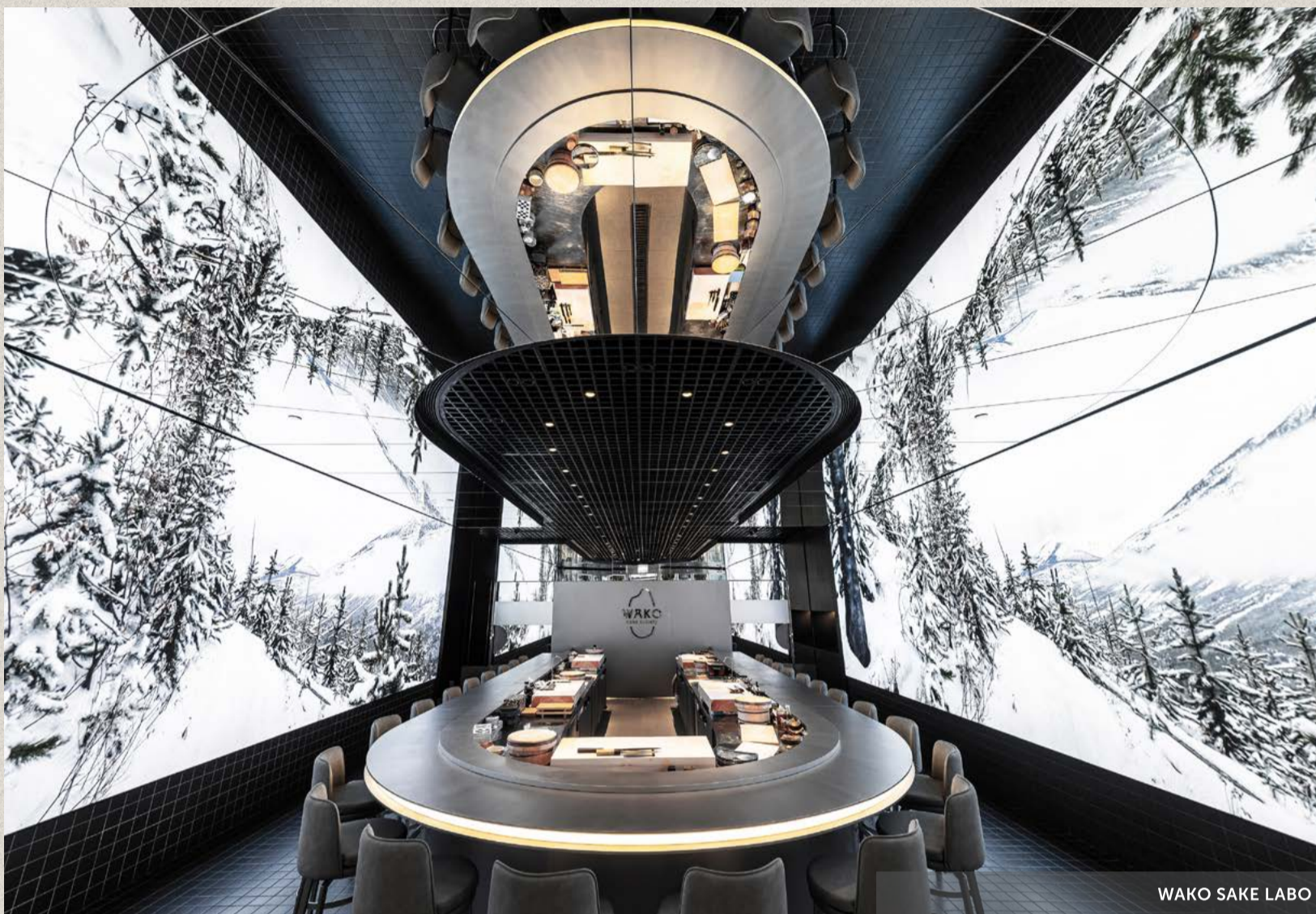
フィンヴィア空港 (フィンランド) のカーボンニュートラルへの取り組みに対応して、ヘルシンキ空港 (ターミナル2、到着口) のプラザプレミアムラウンジは「二酸化炭素排出量ゼロ」となっています。

インタビュー

エノクが人生でほかの何よりも楽しんでいるのは、父親とインテリアデザイナーという2つの役割です。

ワーク ライフ バランス

エノクにとって、仕事と生活と遊びのバランスを保つことは大切なことです。



WAKO SAKE LABO

ONE CITY

香港

Opening essay by Lianne Hackett

Wako Sake Labo は、アトリエ E のポートフォリオにおいて中核をなすインテリア デザイン プロジェクトです。このレストランは、高級日本食レストラングループ Wako Sake Society のために、2023年に香港のコーズウェイベイに完成しました。近未来的で印象的な外構の看板は、内側から突き出ていて映画の世界に入り込んだような佇まいです。中に入ると、魅惑的な空間が広がっています。Time Out 誌は、この内装デザインに囲まれて、日本酒を飲み、酢飯の上の生魚を頬張ることは間違いなく忘れられない体験だ、と評しています。ダイニングスペースの一角は、日本の冬を思わせる雪景色に囲まれ、まるでスキー場のロッジのような雰囲気に浸ることができる。魚は皿の上だけでなく、まるで宇宙に浮かんでいるような逆光の輝きの中で、スケール感のあるアート作品として大きく浮かび上がっています。

エノク ホイは、イギリスのバース大学で建築を習得し、建築とインテリアデザインの実務も行いました。2009年には香港でAtelier E を設立しました。自身のスタジオで手がけるすべてのプロジェクトについて「ユニークで洗練された細部が丁寧に配置された連続し絡み合う空間のシンフォニーで、発見の旅を演出する」と表現しています。Wako Sake Labo のインテリアは、まさにそのとおりです。

エノクのモットーは「人生は喜びに満ちている、だからできる限り、できるうちに楽しもう」で、



“エノクはジョン・レノンの「You may say I'm a dreamer, but I'm not the only one」という言葉を胸に生きています。夢想家は夢を描き、その夢は必ずや建築家と多くの幸せなクライアントのために、家族の暮らしのシンフォニーとして再生されることでしょう。”

”

“ デザイナーとして働くというアイデアは、私の人生のそれぞれの現在において、私とクライアントのために最善と思われることを行う自由を与えてくれます。常に新しいことを学ぶことができるのです。 ”



Koko coffee labo : トーテムポールのオブジェが角ばったチューブ状になっていて、中央にコーヒーミルが置かれた最上級のもてなしです。



Dood bottega gelateria: ジェラートが大好きなお客さま向け。アトリエEのクールでクリーンなガラスとスチールの売店、手作りジェラートショップが宇宙船のように魅せます。

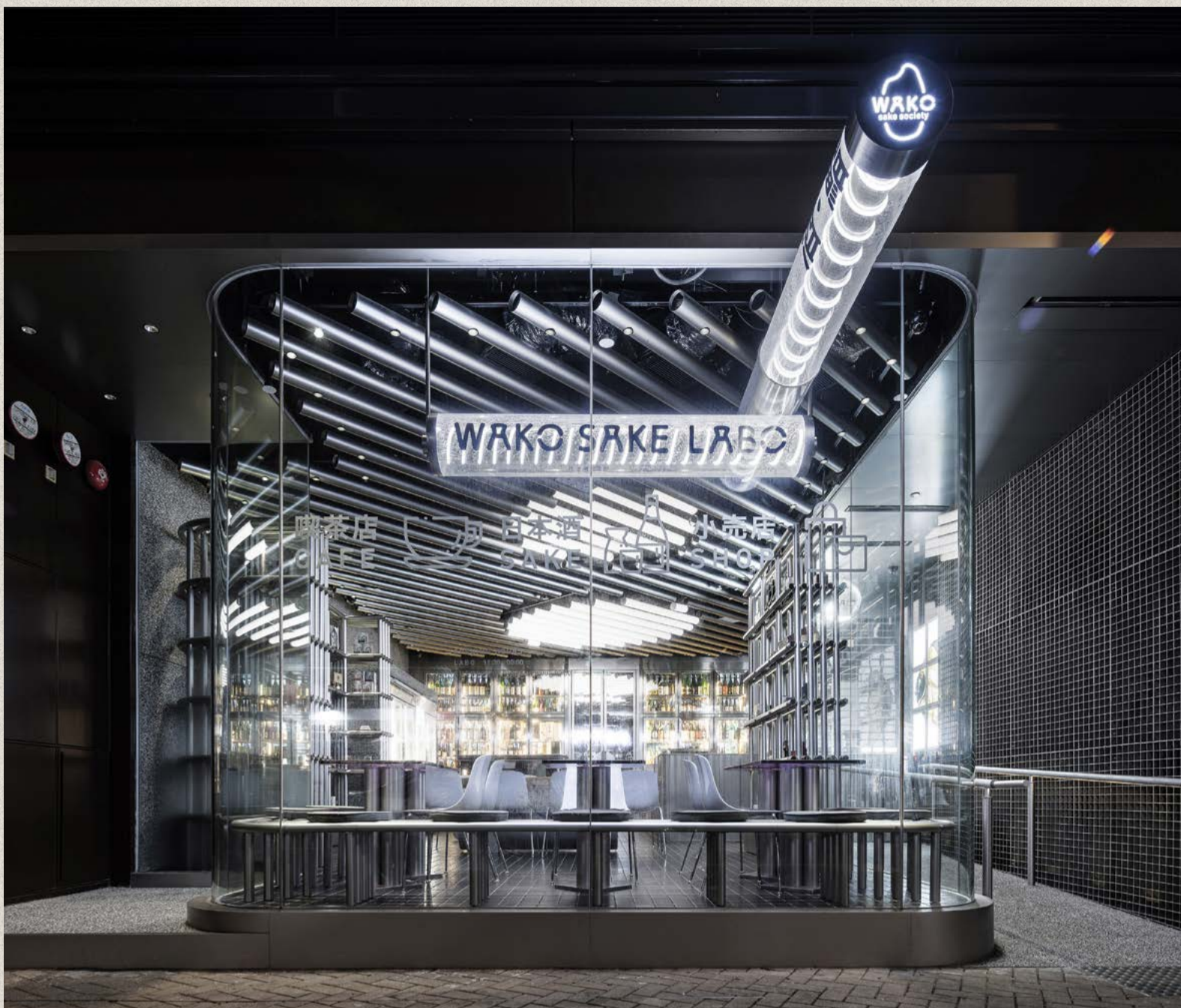


The Biohazard Chapter:

STEM教育（科学Science・技術Technology・工学Engineering・数学Mathematics）で、わくわく感を高めるには？アトリエEのデザインのおかげで、Tang King Po Schoolの生徒が仮想のバイオハザード（生物学的災害）ドアからSTEM教室に入ることができるようになりました。



CNA オフィス: CNAメタルズグループのリサイクルへの取り組みを強調するため、原材料を意図的に未処理のまま露出させたラディカルなデザインです。



WAKO SAKE LABO

COMPOSITION DESIGN

クライアントにも彼のデザインに喜びを感じてもらいたいと考えています。依頼主が事前にエノクのウェブサイトや Behance などのソーシャルメディアをみれば、彼のデザインが「エモーショナルな反応」をはっきりと喚起し、それが仕事に現れているのを見てとれます。Koko Coffee Labo の場合は、トーテムポールのオブジェが角ばったチューブ状になっていて、中央にコーヒーミルが置かれた最上級のもてなしです。まるで未来のレコードのターンテーブルのような円形のコーヒーサービスカウンターが8つ整列しています。

Wako Sake Labo から Koko Coffee Labo.に至るまで、エノクのデザインには常にチューブ状の鋼鉄が未来的に使われています。Hazel & Hershey Café にある成型ダンボールは、「未知なる世界へ突き進め」という格言を体現しています。この言葉は、エノクが第29回深セン国際家具見本市2023で発表したビデオ「The core of Atelier E」に織り込まれており、カ・チュン・ツァンのサウンドトラックに合わせたダイナミックな映像になっています。

2013年に Perspective が主催したSecret Chair Project のための「The Secret Chair」には、エノクのデザインセンスと遊び心の両方が表れています。ヴィトラ・デザイン・ミュージアムにある、著名な建築家やデザイナーのシグネチャーチェアの実物レプリカに敬意を表して、エノクはヴィトラが香港を代表する家具として依頼するような作品を思い描きました。エノクが選んだのは？ シンプルでアイコン的な香港の折りたたみスツールです。Secret Chair プロジェクトは、「地元的设计を称え、多数の香港の家庭や何世代にもわたる香港人の生活と暮らしの中で重要な役割を担っている地味な家具に敬意を表す」ために生まれました。デザインの課題は、香港のシンプルでアイコン的な折りたたみスツールを再利用、改造、または完全に再形成することでした。3Dプリント技術で作られたミニチュアは、プロジェクトが選んだ場所であるストリートで展示され、エノクは再利用したスツールをヴィトラ美術館のオマージュである階段状のショーケースに設置しました。1989年のケネディロードの「Our of Context」展が、今日の香港の若者たちの心に響いたように、Secret Chairもまた、そのような存在なのです。エノクが言うように、「ちょっと楽しいもの」だが、その楽しさの裏には真剣な目的がありました。

ONE STORY, ONE INTERVIEW

FOR ME, THE MOMENT IS NOW.

デザイナーや建築家を目指したのはそもそもなぜですか？

きっかけは両親です。小中学校で、私が一番好きだった科目はいつも美術でした。大学進学の際も、どのように科目を選べばいいのかわかりませんでした。結局、いろいろ考えた結果、イギリスのバース大学で建築を学ぶことにし、運良く合格することができました。

しかし、人生には誰しも間違った選択をすることがあるものです。私が建築学科に関して受けた最初の印象は、図面のスキルが比較的小さく、理論が支配的でした。その結果、1年目には、教えられた建築に興味を持てず、留年しそうになりました。両親のお金とイギリス留学の機会を無駄にしないと決めてから、建築とデザインへの理解が再燃しました。その経験は次第に私の中で大きくなり、その後6年間、建築を学びました。

あなたのライフストーリーを教えてください。

私は、父親とインテリアデザイナーというふたつの役割を他の事よりもっと楽しんでいます。特に娘の父親であることを楽しんでいます。インテリアデザイナーとしての役割については、特にデザイナーが集まるデザイン関連のイベントなどで話すのが気が引けます。私の目標は、多くを語らず、多くを実行することです。自画自賛は、私を含め誰にとっても良いことではありません。

仕事と生活と遊びのバランスを保つことが重要です。多くの成功した人が老後に「仕事に打ち込んで、充実した人生を送れなかった」と後悔しています。人から「デザインは自分の人生だと思ったほうがいい」とよく言われます。でも私の答えとしては、それは塵のようなものです。あえて誇張して言っているのですが。

趣味は釣りです。海で釣りをしていると、仕事のことはずっかり忘れてしまいます。

提案したいデザイン価値はありますか？

近年、多くのデザイン作品が「アート」として代わられてのを目にします。課題だと感じています。

インテリアデザインとアートは密接な関係にありますが、そのバランスは大切です。アートを創ることとデザインをすることは、前者の方がより个性的であるという点で異なります。前者は、100%自由に好きなものを創ることができます。完成品は、それが欲しいと思いついたときに売買されます。後者の場合、デザイナーは（自身ではなく）クライアントの希望を叶えるためにアシストしたりクライアントのビジネス伸長に注力しなければなりません。デザイナーは、プロジェクトの予算やスケジュール、市場ポジショニング、品質管理など、さまざまな要素を調整する必要があります。私の経験では、クライアントの市場ポジションに沿わない過剰なデザインの空間や、クライアントがそのコストを回収できないような高価な空間があまりにも多く見受けられます。成功するためには、クライアントのことを第一に考え、主に機能性の面でニーズを満たすことです。視覚的なインパクトは二次的な要素です。コンペティションに勝つためだけにデザインするのは、デザイナーの身勝手な行為だと私は思います。

会社の歴史についてお聞かせください。

2009年、私はアトリエ ソリューション スタジオとしてAtelier E を設立しました。名前自体がエノクのアトリエであることを表しています。また、「アトリエ」とすることで、私にフレキシビリティを与えてくれます。デザイナーがデザインに飽きたら、パン屋になればいい。Atelier E は、パン屋になれることもできるのです。

Atelier E を設立した当初は、住宅プロジェクトを中心に仕事をしていました。その後、和風串焼きの店舗デザインを経て、商業施設にすすみしました。振り返れば、この信頼と契機をくれたお客さまに感謝し



ています。縁あって、香港以外の国—日本、フィンランド、イギリス、中国、シンガポール、マレーシア、ミャンマーなどのプロジェクトも手掛けるようになりました。

この2年間は、あなたにとってどんな年でしたか？

世界的に、ここ数年、ほとんどすべての産業が大きな課題に直面しています。その点で私たちも例外ではありません。事業縮小の影響に伴い、海外プロジェクトの管理も困難になりました。幸い、私たちはテレビ会議でリモートで仕事をすることができました。

失うものが多ければ多いほど、得るものも多いといえます。私の娘は2年前のコロナ最中に生まれました。今となっては、私の人生における最大のプロジェクトといえます。ロックダウンの間、私は家族と過ごす時間を増やしました。また、自分自身にも向きあいました。ワークライフバランスがいかに大切か、よくわかりました。



NINETYs: コンセプト、カフェ、姿勢、高度。



黒い鉄と温かみのある木板が、視覚的エッジを利かせる



カフェスタンドの屋根は、ミカドゲームの竹スティックのようなデザイン。

AIAセントラルのNINETYsカフェスタンドは、喧騒の中にある香港の金融センターで、安らぎと静寂のオアシスのような存在として親しまれています。ミカドゲームの形式と哲学からインスピレーションを得ています。かつてスーフィーの詩人ルーミーは、「セレンディビティとは、人生で求めているものを見つけるプロセスである」と言いました。ミカドゲームは、まず竹のスティックを山盛りにして、参加者が順番に身体能力と思考力を駆使して戦います。ひとつひとつのスティックをランダムにおくことで戦略的にゲームをすすめます—無意識に置かれたものと意識的に配置されたスティックが組み合わせられることで、ゲームに戦略と楽しさの深みが増します。同じNINETYsのカフェデザインは、近隣のビジネス街で働くオフィスワーカーに、楽しいサプライズとハンドドリップコーヒーを提供します。

NINETY's のシグネチャーカラーとペンダントライトで完成されたユニークなカフェスタンドでは、クライアントのブランド名「AIA」が竹のスティックをリズムカルに運動し、超高層ビルのガラス張りのエレベーターロビーを引き立てています。壁がないカフェスタンドからは、客は変化する街並みを一望することができます。カフェスタンドのテーブル天面の、ドロマイト（白雲石）はロビーの床と同じで、環境に溶け込んでいて集中力が持続します。まさに、他の竹を動かさずにできるだけ多くの竹を拾うというゲームのルールのように。ミニマルな立方体の縁にはアクセントとして黒い鉄と温かみのある木板が丁寧に交差しています。天井と奥の壁に竹串をさしたような高揚感をもたらし、ミカドゲームのエッセンスへのオマージュを表現しています。

aia coffee kiosk

デザインのセンサーシジョンとしての曲線



No Other Than Specialty Coffee. オーナーは「機械をつかわないハンドメイドのコーヒーはいきいきとして異彩を放つ」と言います。天井から吊られたU字型のステンレス製照明グリッドが、壁を躍動的に見せています。コーヒーカップにドリップされるコーヒーの水流は、一見バラバラですが、テクスチャーがまとまった配置となっており、コーヒーづくりの芸術を表現しています。

“ 曲線は、流動性、躍動感、自由な動きを連想させます。Curve Affair は、私たちが名づけた、果てしない曲線の魅力で誘いかけるな没入型スペースです。実際、Curve Affair は、丸いもの、ボリューム感のあるもの、曲がりくねったものなど、あらゆるものに対する憧れなのです。

”

Atelier E のプロジェクトが華やかなのに対し、Secret Chair Project は、彼のルーツである香港との深い結びつきがあります。英国での建築教育、クリエイティブなビジュアルのセンス、香港人としての明確なアイデンティティは、エノクに国際的な仕事にふさわしい礎です。受賞歴に輝くプロジェクトは、彼のビジョンと Atelier E のチームの証といえます。



このデザインには、サステナブルな建材がふんだんに使われています。伝統工芸と現代技術の融合によって実現される例として、伝統的な技法の洗練されたラタンの編み込み技法が選ばれました。白に染めたラタンをキャンバスのように編み込むことで、この地道な素材に想像力やアイデアを表現することができるのです。

仕事、生活、遊びのバランス



最近、北海道のスノーリゾート地、ニセコで3棟の別荘を手がけたのが、その代表的なプロジェクトです。3棟の家は、まるで互いに会話するように配置されています。木造の外壁に力強いスチールのディテールを施し、日本のシンプルさを深く理解した感性で構成されています。そこで過ごす家族にとって、この3つの家は喜びの対象です。

コロナのロックダウン中に娘が誕生したエノクにとって、家族との生活が今は中心となっている。この期間に娘が生まれ、エノクはワークライフバランスを重視するようになりました。ロックダウンの間、他の多くの人たちと同じように、彼は新しい働き方に軸足を移さなければなりません。娘が本当の変化をもたらした魔法でした。大好きなパン作りと家族の絆を大切にしたい家庭空間をデザインすることが、今の彼の原動力です。Atelier E は、これからも華やかな商業デザ

インを続けていきますが、心は家庭にあります。

エノクはジョン・レノンの「You may say I'm a dreamer, but I'm not the only one」という言葉を胸に生きています。夢想家は夢を描き、その夢は必ずや建築家と多くの幸せなクライアントのために、家族の暮らしのシンフォニーとして再生されることでしょう。



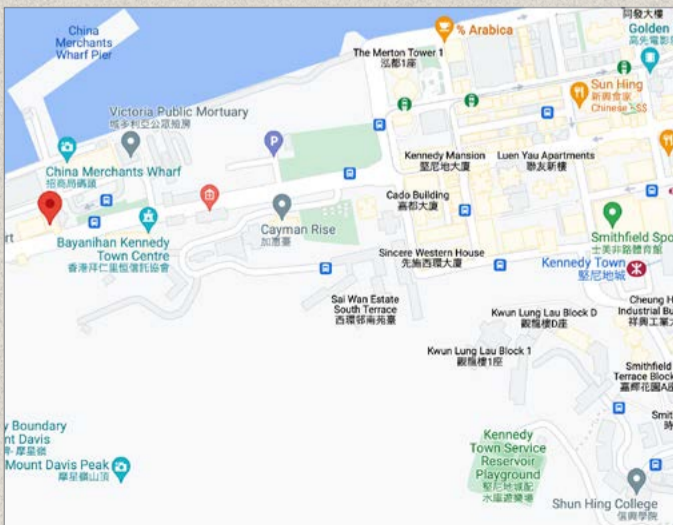
ATELIER E

Atelier E は、建築とインテリアデザインが強みです。連続する空間と絡み合う空間が丁寧に配置は、オーケストラの行進のように、楽しい発見の旅を演出します。Atelier E のモットーである「Life is full of joy (人生は喜びに満ちている)」は、このアプローチを映しています。

Address: 12/F, Yiuga factory building,
62 Victoria road, Kennedy town, Hong Kong.

Phone: (852) 2866 3889
Fax: (852) 2866 3890
Email: info@ateliere.com.hk

<https://www.ateliere.com.hk>



Photos courtesy of Atelier E (Hong Kong)

#ISSUE 05 Japanese Version
#ISSN 2817-1276

Managing Director: Peggy Lui
Editor and copywriter: Lianne Hackett
Art Direction: Peggy Lui
Design by: Merci Team
Printed in Japan/ Canada

One Story by Merci Media Corporation is a Trademark publication.
Trademark file number 2222129.
It all begins with one story - One Brand One Solution One Story.